



脱炭素資源化技術&サービスの オンリーワン企業として、 industriaとの技術&ビジネス相互Winにより、 資源循環型社会づくりに挑む

株式会社ティービーエム

インタビュー

代表取締役社長 佐原 邦宏様

未利用食品廃棄物（排水油脂、食品ロス、残渣汚泥）を最大に脱炭素資源化するための技術&サービスを開発・提供するオンリーワン企業。「Simple is the Best」を技術開発の基本思想としてイノベーションを続け、資源循環型脱炭素社会づくりに挑んでいる。

事業内容：未利用食品廃棄物の脱炭素資源化に関する新技術&新サービスの開発、および、資源循環の仕組みづくり

課題

脱炭素とサーキュラーエコノミーの推進は喫緊の課題

持続可能な社会の実現に向けて、「脱炭素」および「サーキュラーエコノミー」の推進は、いま、あらゆる業界において喫緊の課題であり、脱炭素環境技術は日々進化している。排水油脂や食品ロスなどの「未利用食品廃棄物」の“脱炭素資源化”事業のオンリーワン企業である同社では、独自かつ最先端の脱炭素資源化技術のさらなるイノベーションに向けて、他の環境技術企業との技術協力による新たなブレイクスルーを目指していた。

FILSTAR®を選択した理由

構造のシンプルさとindustriaの技術力・人間力

同社の技術開発の基本思想は「Simple is the best」。水の流れだけで高精度なる過を行うFILSTAR®は、まさにその思想に合致していた。シンプルとは「無限の可能性がある」ということ。そのため、油脂回収・燃料化・発電という脱炭素資源化のさまざまなプロセスで活用できる可能性がある。また、技術協力にあたっては人間的信頼関係も重要だ。「FILSTAR®のシンプルさとindustriaメンバーの技術力・人間力の高さが導入の決め手となった」と、同社の佐原社長は語る。

FILSTAR®の効果

脱炭素資源化効率向上に効果を発揮

FILSTAR®は、同社の脱炭素資源化プロセスにおける複数の新製品・新サービスの中に組み込まれ、脱炭素資源化効率向上に効果を発揮している。また、新たな領域でのFILSTAR®の活用は、同社のオンリーワン技術のさらなる創造に向けた付加価値向上に貢献すると同時に、FILSTAR®自体にとっても新たな活用方法の発見につながっている。「数値的效果以上に、両社での“技術相互Win”が実現できていることが最大の効果だ」と、佐原社長は語った。

資源循環の社会的仕組みづくりの先に industriaとの技術協力がある

脱炭素資源化への取り組み

脱炭素資源化のオンリーワン企業として、技術協力によるブレイクスルーをめざす

パリ協定に基づく2050年の「カーボンニュートラル」の達成に向け、「脱炭素」は全世界における喫緊の課題になっています。国内でも、**最重要テーマの一つは、「サーキュラーエコノミー」の推進**です。

私どもは、「脱炭素社会づくりへの貢献」を企業ミッションとして、飲食施設や食品工場で発生する排水油脂、食品ロス、残渣汚泥などの未利用食品廃棄物それぞれの特性に応じた「資源化技術&サービス」を開発・提供し、「資源循環の社会的仕組み」を作

ることを事業としています。
この分野は、新しい環境技術分野であり、私どもが最先端かつオンリーワンの存在です。**技術やプロセスとして固定化されたものではなく、新たなイノベーションによる新製品・新サービスの創造・開発が求められます**。そのため、他の環境技術企業との技術協力などによるブレイクスルーが必要となっていました。

FILSTAR®の導入に至った経緯

技術開発思想の共有と信頼できる人間関係が、製品導入・技術協力の決め手

FILSTAR®を一目見た時、水の流れだけで高精度のろ過を行うシンプルな構造・機構に、「これは、何にでも使える。無限の可能性がある」と直感しました。私どもの技術開発思想は、「Simple is the best」です。機械は複雑にすればするほど、壊れやすくなります。機能が付き過ぎていると、用途が限定されてしまい発展可能性が狭まります。**Simple is the best —industriaとの根本にある技術開発思想の共通性を感じ、早速、製品導入・技術協力を決めました。**

また、私が一緒に仕事をする上で大事にしていることがあります。それは、人間同士の信頼感です。技術企業といえども、仕事をするのは人と人です。industriaのメンバーは皆誠実で、有用なデータをタイムリーに出してくれます。そして、「できることはできる。できないことはできない」とはっきり言いつつ、挑戦と努力を惜しまないプロフェッショナル集団です。そうした**信頼できる人材が集まる組織風土である**ことも、製品導入・技術協力の大きな決め手になりました。

industriaと技術を掛け合わせ 共に脱炭素社会づくりに貢献する

FILSTAR導入効果

「技術相互Win」により、お互いの新たな付加価値が生まれている

FILSTAR®は、私どものいくつかの新製品や新サービスにおいて、**新たな価値を生み出す大切なパーツ**となっています。「どのプロセスでFILSTAR®を活用するか」を考えること自体が、私どもの新たな技術&サービスを生み出します。

「導入効果」というと、生産効率が〇〇%上がった、コストが〇〇%削減できたという数値的効果に目がいきがちですが、私どものような最先端の技術開発企業においては、その製品を導入することにより**どのような「付加価値」が生まれるか**が重要な効果になります。industriaのメンバーと「ああでもない、こうでもない」と試行錯誤をしながら、これまでにない全く新しいアイデア、方法が生まれることが重要な効果なのです。それは同時に、FILSTAR®自体の新しい活用方法の発見でもあるでしょう。

そうした、**お互いがお互いの触媒になる「技術相互Win」の関係が成り立っていることが**、FILSTAR®を導入し、industriaと技術協力することの、最も重要で持続的な効果だと考えています。

未来への取り組み

「ビジネス相互Win」で新しい仕組みを創造し、脱炭素社会づくりに貢献する

「脱炭素環境技術」は、まだまだ発展可能性の高い技術領域であり、これからますます進化していくと思います。実際、「脱炭素」や「サーキュラーエコノミー」の世界的進展に伴い、私どものビジネスも、EUをはじめとしてアメリカ、中国、インド、オーストラリアなどに展開していきます。また東南アジアではAZEC（アジア・ゼロエミッション共同体）を中心に脱炭素活動がより活発化するでしょう。私どもは、今後も精力的にイノベーションを行い、**国内外の脱炭素社会づくりに貢献**していきます。

そうした中で、技術開発思想を共有できるindustriaとの技術協力により、**新たな脱炭素社会に向けたビジネスモデルを構築し、資源循環の新しい仕組みを共に作ってきたい**と考えています。FILSTAR®を組み込んだ私どもの脱炭素資源化製品・サービスの世界的な広がり、FILSTAR®の世界的広がりでもあり、それはお互いにとっての「ビジネス相互Win」につながります。今後も、新しい脱炭素社会の実現に向けて、industriaと共に取り組んでいきたいと考えています。